

分断が進む社会において 市民社会の役割とは

参加
無料

2023年

4.1 (土)
13:30-16:30

お申し込み方法

下記、2次元コードより
必要事項を記入のうえお申込みください。



【開催形式】ハイブリッド開催

会場：大阪市立総合生涯学習センター第1研修室（定員100名）
（大阪市北区梅田1-2-2-500大阪駅前第2ビル5階）
オンライン：ZOOM（定員500名）

【主なスケジュール】

1. キーノートスピーチ
大阪公立大学 菅野拓氏（ビデオ出演）
公益財団法人PHD協会 坂西卓郎氏「多文化共生を
テーマに地域での連携について」
参加者同士のディスカッション
 2. セッション、クロストーク
「分断が進む社会において、市民社会の役割とは」
をテーマに各分野から話題提供
（社会福祉法人大阪ボランティア協会、特定非営利活動
法人関西NGO協議会、特定非営利活動法人近畿環境市民
活動相互支援センター、公益財団法人泉北のまちと暮らし
を考える財団）
参加者同士のディスカッション
- 18時より梅田付近で交流会を予定
（詳細は申込フォームに記載しています）

現在の世界では、国際情勢において軍事的脅威や経済的脅威があり、国内においても孤独や分断といった問題が深刻化しています。多くの人々が孤立し、不安や心配を抱えています。このような状況に対処するためには、国内外の協力が必要であり、互いに理解し合い、対話を進めることが大切です。

そんな中、2023年5月にG7サミットが広島で開催される予定です。それに伴い、広島県、広島市や経済・交通・医療などの分野の関係団体で「広島サミット県民会議」が立ち上がっています。G7に大阪・関西から市民社会の声を届けるだけでなく、大阪・関西から国境に関わらず、地域に暮らす私達共通の課題を共に乗り越えるために、対話を通じた「分断が進む社会において、市民社会の役割とは」をテーマに掘り下げます。